伊勢市立小俣図書館

図書館だより

2026年11月1日発行　**11月号**

〒519-0505 伊勢市小俣町本町２番地
電話 0596-29-3900　FAX 0596-29-3902
ホームページ https://iselib.city.ise.mie.jp
X（旧 Twitter）@ObataKosodate（全て半角英字）



小俣図書館　図書館行事　ごあんない



●赤ちゃんおはなし会



11月12日（木）午前11時～ <2階・会議室>
（定　員）10組程度（当日先着順）
※今回は保健師による子育てワンポイントアドバイスもあります。

●図書館おはなし会＆工作



11月28日（土）午後3時～ <2階・会議室>
おはなしの後、色紙で「みのむし」を作ります。
（対　象）3歳～小学生（就学前の子どもは保護者同伴）
（定　員）20人程度（当日先着順）

●ブックマルシェ＆おはなし会



11月7日（土）、8日（日）〈2階・ホール〉
ブックマルシェ　午前10時 ～ 午後4時
おはなし会　　午後3時 ～（約30分）
約500冊のえほん等を迷路のように並べたブックマルシェと、大型えほんが登場するおはなし会を行います。

●クリスマスツリーを飾ろう！



11月28日（土）、29日（日）〈1階・カウンター〉
本の貸し出しをした小学生以下のお子さんに、オーナメントを1つお渡しします。
みんなで小俣図書館のクリスマスツリーに飾り付けをしよう♪
（対象）小俣図書館で本の貸し出しをした小学生以下の子ども
（定員）各日50人程度（当日先着順）

開館時間　午前9時～午後7時
休館日　毎週火曜日、第2金曜日
年末年始、特別整理期間
貸出　1人10冊2週間以内（うち雑誌は5冊まで）
1団体50冊1か月以内（うち雑誌は25冊まで）



最寄りのバス停「小俣図書館」



小俣図書館カレンダー

11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

図書館まつり

●ボランティアおはなし会スペシャル



①たんぽぽ読書会 11月14日（土）午前11時～
②紙芝居ピッポの会 11月15日（日）午前11時～
〈1階・児童コーナー〉
たんぽぽ読書会と紙芝居ピッポの会による、年に一度のスペシャルおはなし会です。

★うたとピアノとえほんの赤ちゃんおはなし会

11月18日（水）午前11時～ 〈2階・ホール〉
赤ちゃん向け絵本の読み聞かせと歌のおはなし会です。
ピアノに合わせて歌を歌ったり、体を動かしたりします。
「だるまさんが」の大型絵本も登場します。
（ピアノ演奏）角谷ふささん
（対　象）2歳以下の子どもとその保護者
（定　員）25組程度（先着順）
（申込み）11月1日（日）午前9時から、直接または電話で小俣図書館へ



●図書館まつり大上映会

①11月21日（土）午後2時～（開場は午後1時30分～）
「九十歳。何がめでたい」《99分》
②11月22日（日）午後2時～（開場は午後1時30分～）
「ふしぎの国のアリス」《アニメ・75分》
（場　所）2階・ホール
（定　員）①②ともに50人程度　※当日先着順



特設コーナーのご案内

小俣図書館は、伊勢市にゆかりのある作家さんを応援しています！
館内には、小説家・大門剛明さん（伊勢市出身）や絵本作家・tupera tupera さん（ツペラツペラの亀山達矢さんは伊勢市出身）、絵本作家・二見正直さん（伊勢市在住）のコーナーを設置しております。
ぜひ小俣図書館にご来館いただき、伊勢市にゆかりのある作家さんの作品をお楽しみください。

※「★」の行事は、申し込みが必要です。
※行事詳細は小俣図書館のポスター・チラシをご覧ください。
※諸般の事情により、行事が延期または中止になる場合がございます。ご了承ください。

No.297
令和８年（2026年）11月１日発行
編集・発行　伊勢市立伊勢図書館
指定管理者／株式会社図書館流通センター
住所　〒516-0076　伊勢市八日市場町13-35
電話　0596-21-0077　　FAX　0596-21-0078
ホームページ https://iselib.city.ise.mie.jp
一般・X（旧 twitter）@toshokan_iselib
子育て・X（旧 twitter）@isetoshokan
ＹＡ・X（旧 twitter）@IselibYa

伊勢市立伊勢図書館 図書館だより 11月号

10/27～11/9は読書週間です

「おはなし会」

えほんの よみきかせ かみしばい など

《日時》毎週 土曜日 午後２時３０分～
《場所》１階・おはなしコーナー
１１月７日／おにいさん、おねえさん による おはなし会
１１月21日・２８日
／おはなしプーさん による おはなし会
１４日は耳で楽しむおはなし会です！申込みが必要です。

「あかちゃんえほんのじかん」

《日時》１１月26日（木）午前１１時～
《場所》２階・視聴覚室
《内容》あかちゃんむけの絵本の紹介や、手あそびなどをします♪

「あかちゃんえほんのじかん」は、毎月第４木曜日です！

「上映会」

《日時》　１１月８日（日）午後２時～
（開場：午後１時45分）
《場所》　２階・視聴覚室
《定員》　４０人（当日先着順）

「オフサイド・ガールズ」〈上映時間92分〉

※おはなし会、あかちゃんえほんのじかん、上映会、図書館まつり上映会 は、申込不要です。

施設利用抽選会（2027年１月～３月分）

《日時》１１月６日（金）午前10時～
《場所》２階・視聴覚室　（開場：午前９時30分）

開館時間　午前９時～午後７時
休館日　毎週水曜日・第２金曜日
・年末年始・特別整理期間

最寄りのバス停「伊勢市立図書館前」

貸出　１人10冊　２週間以内（うち雑誌は５冊まで）
１団体50冊　１ヶ月以内（うち雑誌は25冊まで）

＊ 伊勢図書館・休館日カレンダー ＊

１１月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

１２月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

※12/29(火)～1/4(月) は年末年始のため休館です。

※諸般の事情により、行事が延期または中止になる場合があります。ご了承ください。

図書館まつり

１１月１４日（土）～１１月２４日（火）

文化サークル展示

《日時》１１月１４日（土）～２４日（火）
《場所》２階・展示ホール
《内容》折り紙・絵手紙・編み物など、図書館の施設を利用しているサークルの作品展示

おはなしプーさんの耳で楽しむおはなし会

《日時》１１月１４日（土）
①大人向け　午後１時30分～
②子ども向け　午後２時30分～
《場所》２階・視聴覚室
《対象》①中学生以上
②5歳～小学生（未就学児は保護者同伴）
《内容》語り手が絵本などを使わずに覚えて語るストーリーテリング（素話）のおはなし会です。
頭の中で自由に想像し、たのしいひとときをお過ごしください。
《定員》①②各30人（先着順）
《申込》１０月３１日（土）午前9時から、
直接カウンター、電話、FAXで伊勢図書館まで

図書館まつり上映会

《日時》１１月１５日（日）午後２時～
《場所》２階・視聴覚室　（開場：午後１時30分）
《定員》40人（当日先着順）

「映画グランメゾン★パリ」〈上映時間117分〉

図書館まつり2026 特別イベント『郷土愛！！爆発篇』

あなたしか知らない“まち”の魅力を教えてください！

《日時》１１月２１日（土）テーマ：海
１１月２２日（日）テーマ：山
午前10時～午後４時
《場所》２階・視聴覚室、小会議室
《内容》「一箱本棚」（伊勢ゆかりの方々に選んでもらった本とコメントPOPの展示）、
本、お弁当・パン・珈琲・ドリンク・スイーツ等の販売、
ワークショップ、トークイベントなど。
《注意》①：両日ともイベント中は館内全体が騒がしくなることが予想されます。
②：イベントで購入されたものは、会場内（視聴覚室・小会議室のみ）での飲食が可能です。可能エリア外での食事は通常通りできません。
③：駐車場が限られておりますので、公共交通機関のご利用をおすすめします。
《協力》本屋・散策舎、
特定非営利活動法人・知継舎

※イベントの詳細はこちら➔

ISETOSYOKAN

本のごあんない

〔一般書〕　笑点放送 60 周年
～やっぱり『笑点』が好き！～

伊勢・小俣図書館のどちらかに所蔵がある本です。
ご利用館にない場合は、予約ができます。

「笑い」それは人と人とをつなぎ心を和ます日本の文化。
江戸時代に落語や寄席が人気を博し、その後大喜利も栄えました。大喜利は、全員が一つのお題に向き合い互いの答えを受けて笑いを広げていく、絶妙なチームワークも魅力の一つです。そんな大喜利をより身近な存在にしたのが『笑点』です。
1966 年に寄席演芸番組としてスタートし今年で放送 60 周年を迎えました。出演者たちが個性豊かな答えを出し合い、その掛け合いがお茶の間に笑いを届ける“笑いのポイント”となっています。時代と共にメンバーが入れ替わっても、その長い歴史の中で受け継がれてきた伝統は揺るがないもの―。
世代を超えて多くの人に笑顔を届けられる場所がここにはあります。



◎笑点五〇年史 1966-2016 （ぴあ）
◎林家たい平笑点絵日記 （林家たい平／著 ぴあ）
◎ＡＥＲＡ 第 39 巻 34 号 ’26. 7. 27 （朝日新聞出版）

〔児童書〕　**あったかいもの**



冷たい風が吹くようになったら、本を開いて温まろう！
おいしそうなホットチョコレート、ぽかぽかの温泉、あったかそうな手袋やマフラーなど、
見ているだけであったかくなるような絵本やお話があります。
お気に入りの一冊でほっこり温かい時間を過ごしませんか？



★モカとつくるホットチョコレート（刀根里衣／著 NHK 出版）
★手ぶくろを買いに（新美南吉／作 黒井健／絵 偕成社）
★おでんおんせんにいく（中川ひろたか／さく 長谷川義史／え 佼成出版社）
★はじめての編み物棒針編み（寺西恵里子／作 汐文社）
★ダヤンのスープ読本（池田あきこ／著 佐藤かずよ／著 ほるぷ出版）

〔YA〕　「I♡きのこ」



時にその色とりどりの姿と味で人々を惑わし、
時にその毒で人々を死に至らしめる魔性の存在。
一度足を踏み入れたらもう戻れない、めくるめくきのこの世界へみなさんをお連れいたします。

（一般書）●魔女の森　不思議なきのこ事典
（サンドラ・ローレンス／著　吹春俊光/監修　堀口容子／訳　グラフィック社）
●部屋で楽しむきのこリウムの世界 テラリウムできのこを育てる!（樋口和智／著　家の光協会）
●キノコがわたしを呼んでいる（梶尾真治／著　小学館）
●きのこる　キノコLOVE111（堀博美／著　山と溪谷社）
●日々のきのこ（高原英理／著　河出書房新社）

神宮の新嘗祭

ふるさとの散歩道
伊勢図書館編

春の祈年祭で豊作を祈り、秋の新嘗祭（にいなめさい）で収穫を感謝する。

毎年 11 月 23 日、宮中で天皇陛下が新穀を神々に供え、共に召し上がる大儀にあわせ、全国の神社でも行われる新嘗祭。かつての神宮では神嘗祭で新穀が奉られるため、新嘗祭はありませんでしたが、明治 5（1872）年に勅使が遣わされ行われるようになりました。この日は明治 6（1873）年から国家の祝祭日と定められ、第二次世界大戦後は勤労感謝の日として継承されています。

神宮で、毎年決められた日に行われる恒例祭の中でも、最も由緒深く重要なお祭りとされるのは 10 月の神嘗祭。6 月、12 月に行われる月次祭と合わせて「三節祭」と呼ばれます。さらに祈年祭と新嘗祭を加えて「五大祭」といい、これらのお祭りには天皇陛下から御奉納された幣帛（へいはく）を奉る「奉幣（ほうへい）の儀」が行われます。新嘗祭では、神々に神饌をお供えする大御饌の儀が行われ、続いて勅使により天皇陛下の幣帛を奉る奉幣の儀が行われます。両宮に引き続き 11 月 29 日まで、神宮のすべてのお社でも行われます。

宮廷祭祀としての新嘗祭の起源は古く、『日本書紀』神代紀には「天照大神の新嘗（にひなへ）きこしめさむとする時」、仁徳紀には「新嘗（にひなへ）の月に当りて、宴会（とよのあかり）の日を以ちて」とみえ、また『古事記』雄略天皇段では三重の采女（うねめ）が天皇に奉った歌の中に、新穀を神に捧げ自らも食べて収穫を感謝する祭儀を行う建物である「新嘗屋（にひなへや）（爾比那閉夜）」がみられます。

晩秋の神宮の森で行われる新嘗祭。収穫への感謝と、日本人の祈りの心を今に伝える大切なお祭りです。



- 図解伊勢神宮　（神宮司庁／編・著　小学館）
- 神宮要綱　（神宮司庁／編纂　東方出版）
- 神道事典　縮刷版　（国学院大学日本文化研究所／編集　弘文堂）

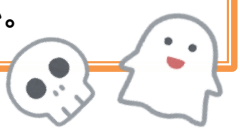


今月は伊勢図書館のスタッフ２人が本を紹介します。

一般書

『ゴーストを訪ねるロンドンの旅』
（平井杏子／著　大修館書店）

多くの歴史の舞台であるロンドン。そこには、紡がれてきた歴史の分だけたくさんのゴーストが現れるようです。大晦日にあの有名な川へ飛び込む切り裂きジャックのゴーストや、厳重な警備の向こう側の宮殿にでるという凄惨な従者のゴースト、劇場の楽屋でセリフの練習をする女王のお気に入りだった役者のゴーストなど、世界で最も幽霊人口の多いといわれる英国の歴史をお楽しみください。



児童書

『世にもあいまいなことばの秘密』
（川添愛／著　筑摩書房）

「私には双子の妹がいます」
と聞いて、「私」が双子だと思いますか？それとも、「私」の妹たちが双子だと思いますか？
この本では、複数の解釈ができる文章を例に、日本語の難しさと面白さを解説しています。自分の言いたいことが意図通りに相手に伝わらない、ましてや正反対に伝わってしまうことってありませんか？それは日本語の“あいまいさ”が引き起こしているのかもしれません。

